

料金別納郵便



銀漆彩 若林和恵 磁器展

令和7年9月17日(水)~22日(月) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時（最終日22日は午後5時まで）

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴 平成5年 東京藝術大学大学院 美術研究科 陶芸専攻 修了、浅野陽氏に師事（~平成8年）
平成10年 イタリア・ファエンツァ陶芸美術学校 卒業、イタリアにて作陶（~平成13年）
平成19年 日本伝統工芸展 入選（以降、入選5回）
平成20年 東日本伝統工芸展 入選（以降、入選10回）
平成29年 第7回 菊池ビエンナーレ 入選（以降、入選2回）
令和5年 第10回 菊池ビエンナーレ 大賞
令和6年 第16回 現代茶陶展 TOKI 織部奨励賞（第17回 同賞）
令和7年 第65回 東日本伝統工芸展 東京都知事賞
現在、神奈川県横浜市にて作陶 日本工芸会正会員

私にとって、横浜は格別な憧れの地です。港があるからか異国情緒があり、街並みも綺麗で、海外にいる様な錯覚を覚えます。今回ご紹介する若林和恵さんは、そんな横浜に工房を構える気鋭の女流陶芸家です。うだるような暑い文月の昼下がり、若林工房に向かいました。とても素敵なお宅で、工房も使い勝手の良さそうな所です。ご自宅では、風向きによると横浜港に停泊する船の汽笛の音が聞こえてくるそうです。

閑話休題。若林さんは、昨今、銀漆彩と銘打つ、細い銀箔が風に吹かれてそよぐ様な美しい文様の作品で人気を博しています。「菊池ビエンナーレX」の大賞や、今年の「東日本伝統工芸展」の東京都知事賞受賞作品という、ふむふむと頷かれる愛陶家の皆様も多い事でしょう。工房では最新作の銀漆彩の作品をうっとりとして拝見しつつ、その制作方法を伺って驚きました。銀箔を細く切って貼る事自体、大変かと思いますが、何と電気窯で7回に分けて焼成されるそうです。若林さん曰く、電気代が大変です（苦笑）との事・・・

さて、弊廊で初めてとなる望望の本展では、銀漆彩の作品を中心に130点余りの美しくも儂い最新作を発表いたします。私は駅から工房まで勝手に向かいますと申し上げたにも関わらず、酷暑の中、私なんぞをわざわざ駅まで出迎えにきてくださり、恐悅至極でした。そんな心優しい若林さん共々、皆様のご来廊をお待ち申し上げます。さあ、夕涼みに、横浜の海を見ながら冷たいビールを呑みに、赤レンガ倉庫でも参りましょうか。

店主 安田尚史

移くギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



